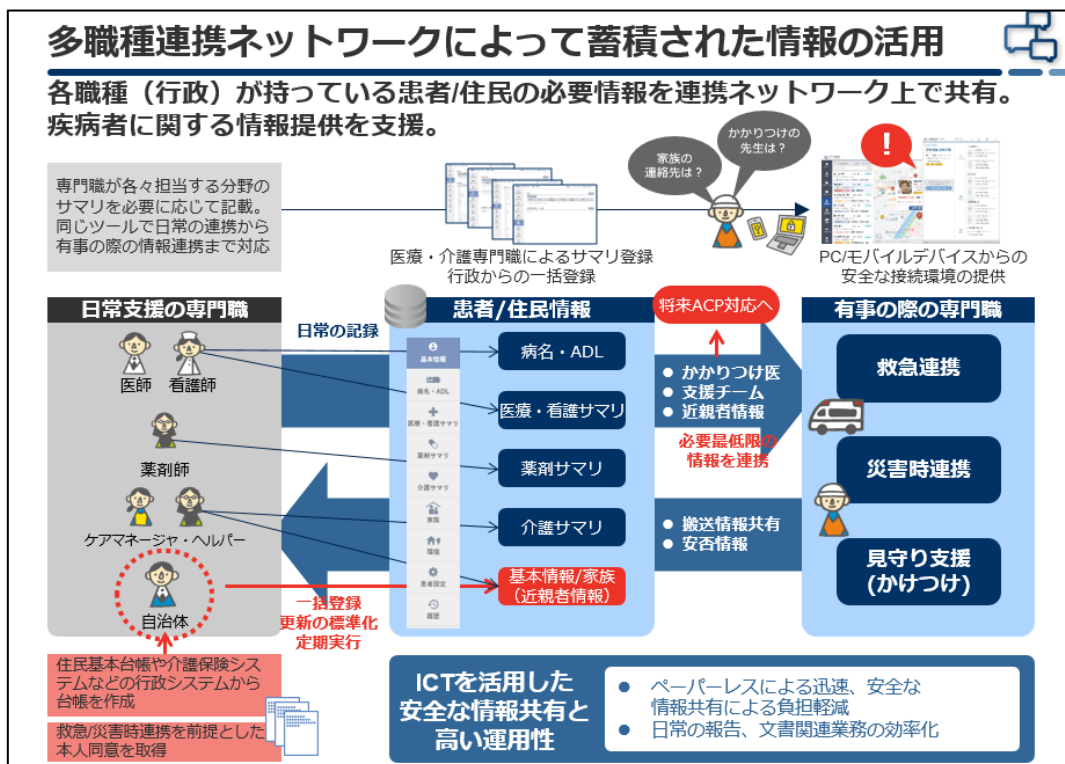
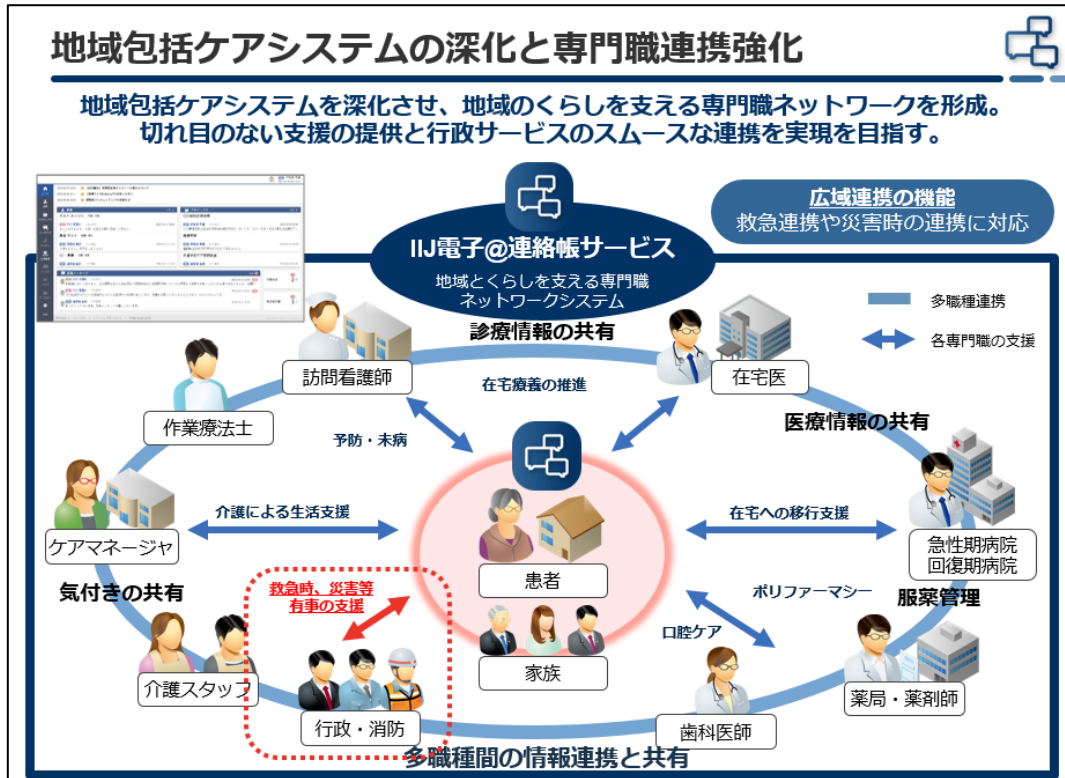


先進的な技術に関わる事業者等からの情報提供資料（案）

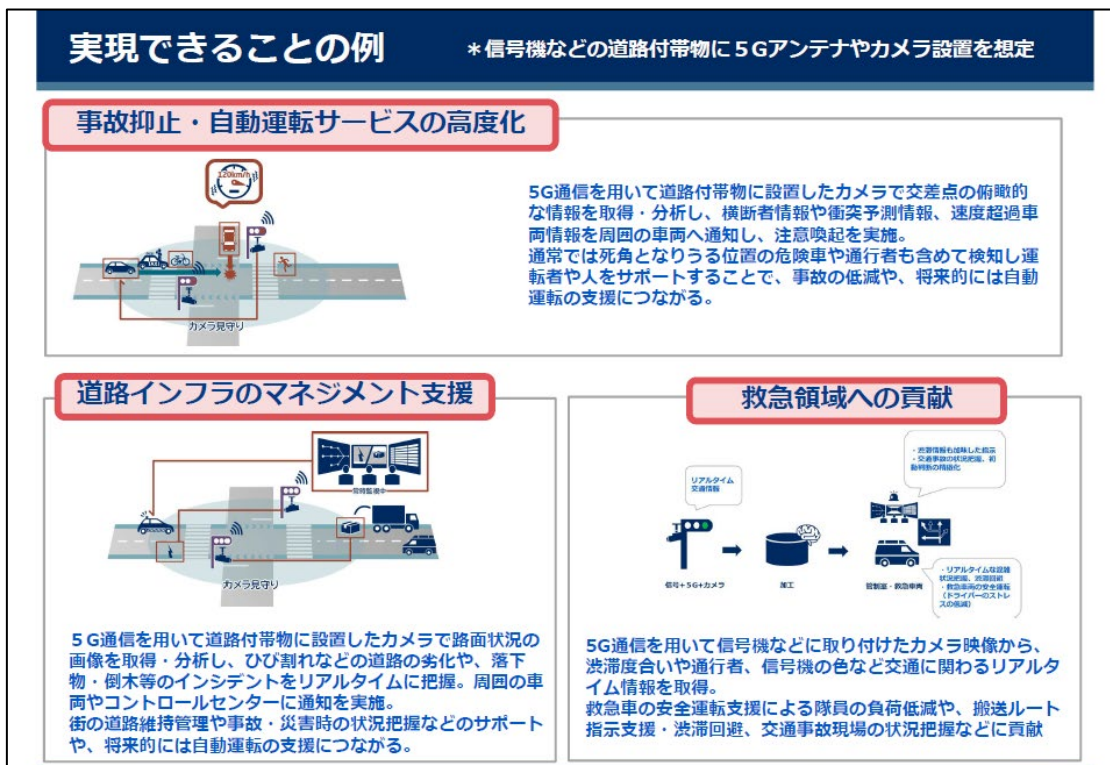
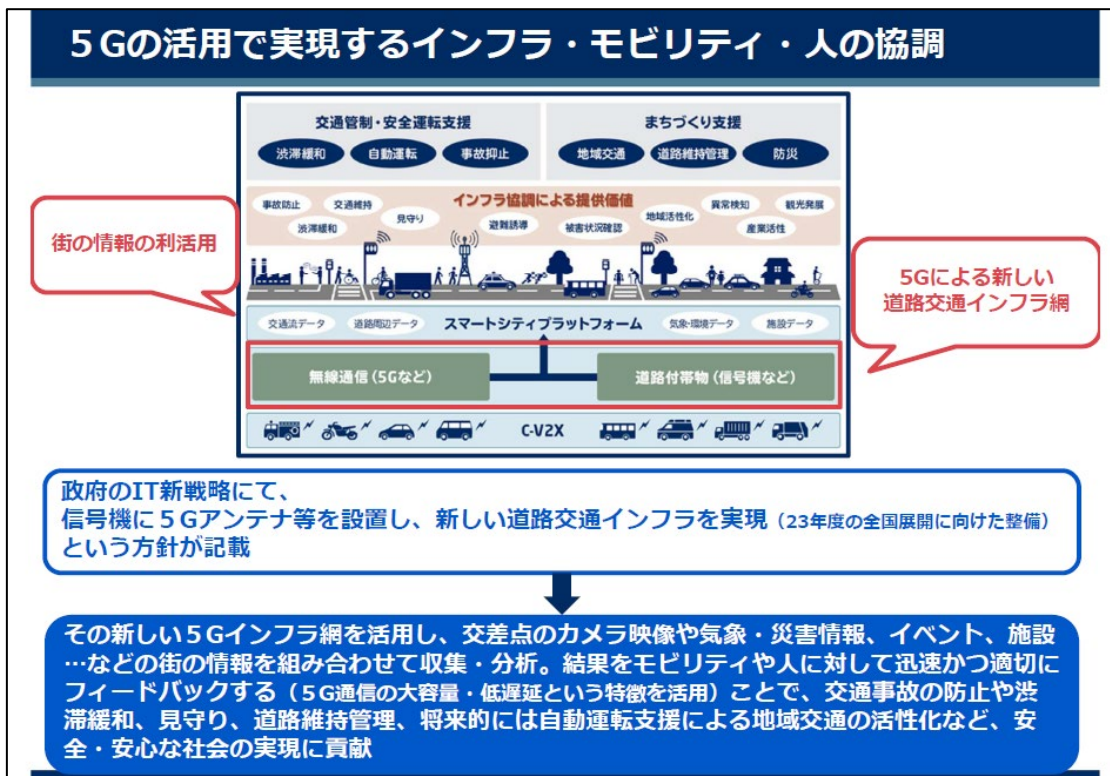
1 救急連携システム

主に ICT 技術を活用し、医療や介護に関わる専門職が「いつでも、どこでも、すぐにでも」情報共有するための「他職種連携」コミュニケーションプラットフォームを構築したシステム



2 5Gの活用で実現するインフラ・モビリティ

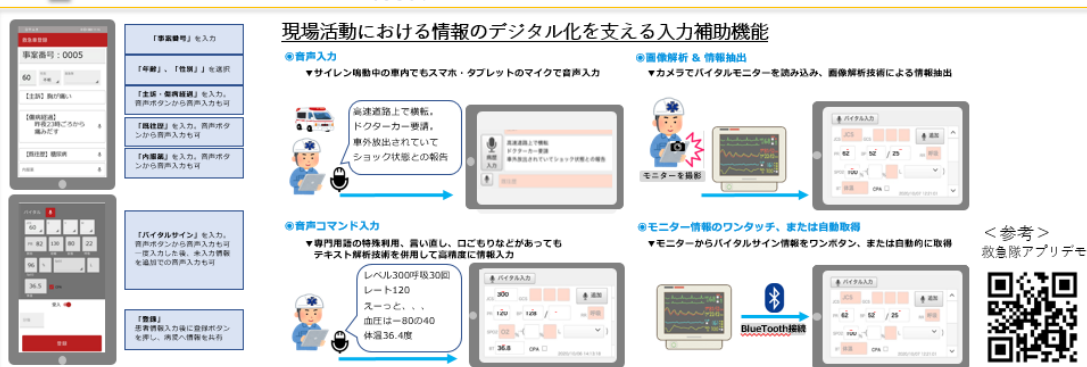
5Gと交通信号機との連携によるトラステッドネットの全国展開（交通管制・安全運転支援・スマートシティに貢献可能な提供価値の創造）



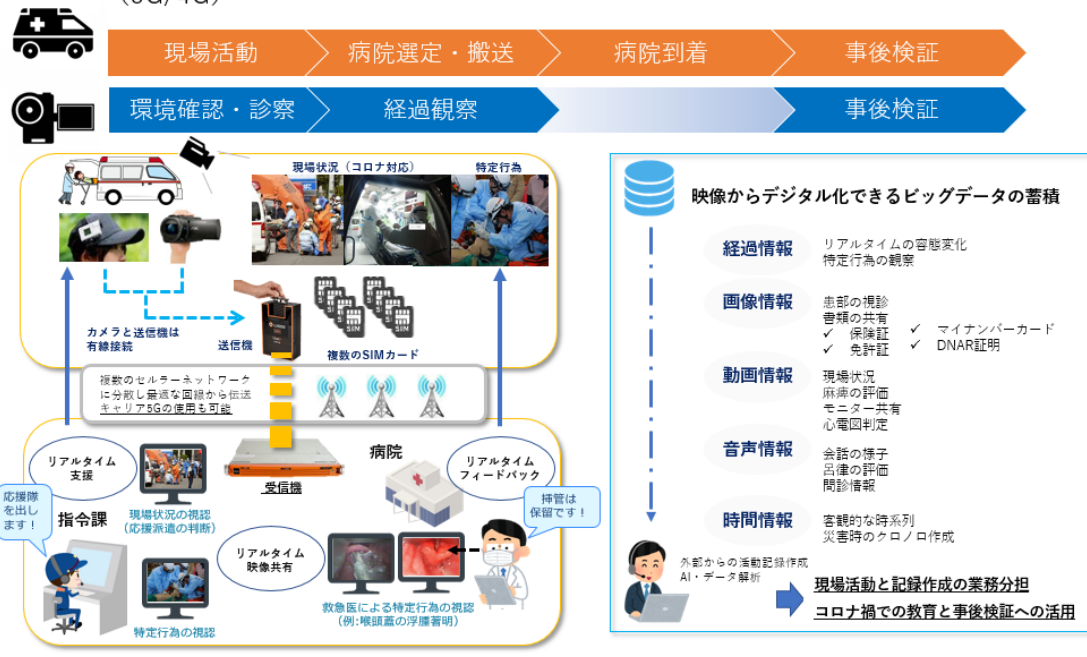
3 救急活動における ICT 技術の可能性

チャットアプリによる情報共有（救急隊～救急医～専門医）及び高画質映像（5G/4G）のリアルタイム共有について

“ストレスの無い”救急デジタルトランスフォーメーション



視覚情報の共有による遠隔指示と教育・事後検証への反映 (5G/4G)



4 異分野における ICT 活用事例、病院前救護を担う救急業務高度化の検討

360°カメラを活用した救急診療での遠隔立ち会いトレーニングや異分野での ICT 活用事例の紹介

異分野におけるICT活用検証事例および、今後の検討

【救急診療】遠隔立ち会トレーニング

■課題
診療や緊急手術への参加、見学ができない、ドクターヘリ、ドクターカーに同乗できない研修医や医学生が、救急診療のトレーニングを効果的に進めようとする。

■解決方法
360°カメラから配信される現場最前線の映像で遠隔立ち会し、普段なかなか入ることができない現場の中心に入りこんで、効果的に学ぶことができる。

【消防設備点検】遠隔支援

(消防設備実験環境にて実施)

■課題
点検者の経験やスキル不足を補い、難易度の高い障害復旧作業でも、正確かつ短時間で実施できること。

■解決方法
制御盤の障害エラー情報と作業者の復旧作業の映像情報とを配信し、必要な情報を揃えて遠隔支援できる。
① 制御盤に表示される障害エラーや反応といった表示情報を把握するために、定点カメラを設置、映像配信
② 復旧作業の仕方を確認・指示するために、境界を越えるウェアラブルデバイスを装着、映像配信、コミュニケーション

【土木建設】遠隔立ち会検査

(5G実験環境にて実施)

■課題
工事の立ち会検査において、立ち会関係者の現場までの移動時間削減、コロナ禍の感染リスク低減を図ること。

■解決方法
現場で立ち会う際に必要とされていた情報を遠隔地の立ち会者へ配信し、遠隔立ち会検査を実施できる。
① 現場の設備や構造、作業者の位置や検査方法等の全体把握のために、360°カメラを設置、映像配信
② 検査対象の種実を確認するために、視野を越えるウェアラブルカメラを装着、映像配信、コミュニケーション

【今後の検討】課題の検討とICT活用イメージ

任務の精緻化、病院前救護時間の短縮、患者の救命・治癒率の向上等、様々な課題がある中、
ありたい姿になるために、どのような課題解決にICTを活用し、救急業務を高度化しているのか、検討をしていきたい。

5 AI 音声認識を活用したスタンドアロン型文字起こし支援アプリケーション

WEB 会議や商談、会見等、対面・非対面の幅広いシーンで利用できるスタンドアロン型文字起こし支援アプリケーションの紹介

AI音声認識を活用したスタンドアロン型文字起こし支援アプリケーション

このアプリケーションは、WEB会議や商談、会見等、対面・非対面の幅広いシーンで利用できるスタンドアロン型文字起こし支援アプリケーションです。
 各種オンライン会議システムと併用可能で、議事録作成に役立つ機能を多数搭載しています。リアルタイム・バッチで日本語の音声認識・編集が可能です。

利用シーン





特徴

特徴①
リアルタイム音声認識に加え、録音データを取り込んで文字化するバッチ認識にも対応。テキスト化されたものから順次修正でき、会議進行と同時に文字起こしを行うことも可能です。

特徴②
PC内の音声を収録するため、面倒な開発や設定は不要。専用サーバーなしで各種WEB会議システムと簡単に併用できます。

特徴③
録音からテキストの編集、文字起こし内容の出力まで単一ソフトウェア内で完結。音声の再生や認識結果の修正はキーボードだけで簡単にでき、作業時間を大幅に短縮します。

特徴④
単語を登録することで、専門用語や固有名詞も高精度に認識します。登録内容は即座に反映され、録音中でも追加・編集可能。利用シーンに合わせた単語リストの作成もできます。



機能



機能① AI話者識別機能
録音中に発言者を選択するだけで、事前に声紋登録することなく、出席者情報からAIが発言者を自動的に識別。

機能② キーワード設定機能
会議における重要な単語を事前に設定することで、テキスト化された発言内のキーワードをハイライト表示。

機能③ タグ付け機能
認識結果にワンクリックで「決定事項」「ToDo」等のタグを付与可能。テキスト編集やWordファイル等への出力後に該当箇所を確認しやすくなります。